

薬剤部だより No.178

山口大学病院薬剤部

2004.11.18

時間外の処方が必要最小限に

時間外の処方については必要最小限にと再々お願いしてきましたが、一向に減る気配がなく、むしろ最近の時間外入院処方箋枚数は下記の通り増加しています。

ご存知の通り、平日時間外は薬剤師1名が外来・入院業務両方に対応していることを考慮され、緊急の場合以外は、ぜひ時間内に処方して下さい。

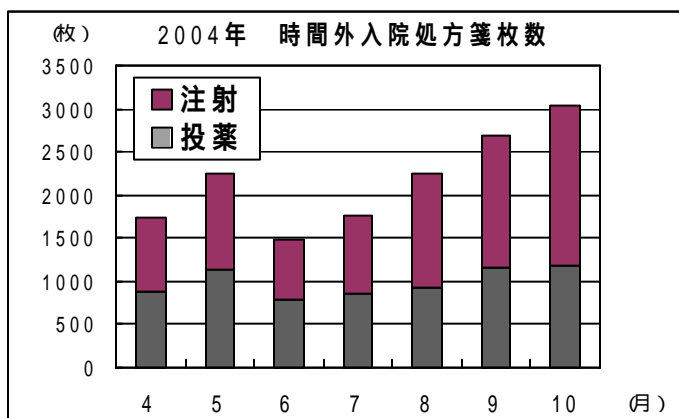
なお、当直室とボックスコンベア到着場所とが離れており、処方箋到着が分からないことがありますので、平日の17:30~

翌日8:30までは、必ず電話連絡

して下さい。

ただし、休日の8:30~17:30

(日中)は処方箋送付の旨の電話



連絡は不要です。また22:00以降は、以前よりお願いしている通り、原則として処方箋を薬剤部へ持ってくることであります。

TDM は治療計画の要点をカルテに記載しなければ保険が通りません

薬物血中濃度モニタリング(TDM)実施により月1回の算定が認められる「特定薬剤治療管理料」においては、薬物血中濃度を測定するだけでなく、「薬剤の血中濃度、治療計画の要点を診療録に記載する」ことが必要です。先日実施された特定共同指導においても、診療録への記載が不十分であるとの指摘がありましたので、今一度ご確認下さい。

点滴用キシロカイン10%が常備薬から削除となります

点滴用キシロカイン10%は、以前より希釈せずそのまま静注するなど医療事故が多いため、販売中止となりました。従って、在庫限りで常備薬から削除となります。

代替薬は、そのまま点滴できる1%オリベスK 2g/200mLになります。

ニフレック、マグコロールPの説明文書、注意をより強化

以前よりニフレック、マグコロールPによる、腸閉塞、腸管穿孔死亡例が報告されています。

薬剤部では外来窓口で大腸検査を受けられる方へ前処置の説明を行っていますが、その際に患者さんへの注意をさらに徹底すると共に、大腸検査説明文書に「(注意)腸閉塞(疑い)の方は服用できません」の一文を追加しました。各診療科におかれましても、これらの下剤を投与される際には十分ご注意ください。

医療監視が無事終了しました

10/26に宇部環境保健所による医療監視が実施され、無事終了しました。ご協力ありがとうございました。

薬剤返却の際は、患者名・ID・オーダ日付が必要です

薬剤を返却される際は、薬剤部から調剤時に一緒に払い出している薬袋または注射薬ラベルを添えて返却して下さい。薬袋または注射薬ラベルを破棄してしまっている場合には、患者名・ID・オーダ日付を書いたメモと一緒に返却して下さい。

特に血液製剤はLot管理を行っていますので、薬剤のみ返却されますと、厚労省通達(患者への使用記録20年間保管)が遵守できなくなります。